

河田龍夫先生を悼む

本会名誉会員の河田龍夫先生は去る8月2日、神戸市で逝去されました。享年85才でした。あの慈愛溢れる先生の温顔に二度とお目にかかれなくなったと思うと、誠に痛恨の極みです。

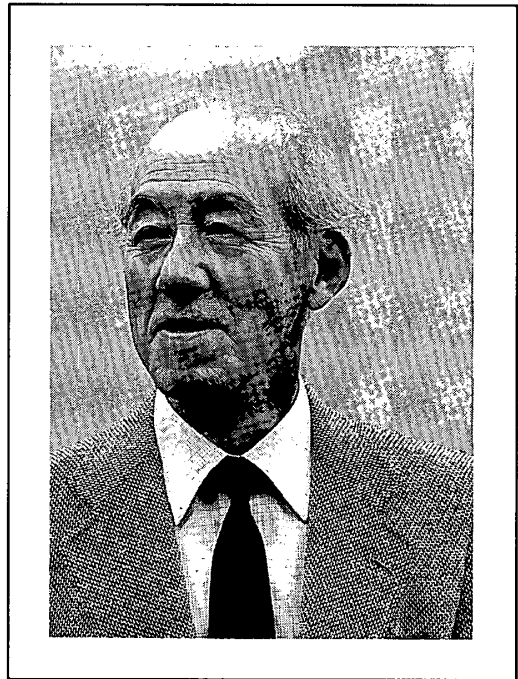
先生は、本学会にとっては、生みの親と申しても過言ではないと存じます。本学会が創立されたのは、1957年、約40年前のことですが、その1年前に、河田先生を中心にOR学会設立打合会が開かれております。それからの約1年、学会設立準備事務局は東京工大の河田研究室に置かれていました。

筆者は当時先生の講座で助手をしておりましたが、「ORはまだ海のものとも山のものとも分からないけれど、この方面の研究を進めることは日本にとって大切で、若い研究者をエンカレッジするためには、まず学会を作っておかなければならない。」とおっしゃっておられたことを覚えております。

それだけに、学会活動はしっかりしたものを目指されていきました。最初から、年2回の研究発表会の開催、季刊の英文論文誌と和文機関誌の発行を掲げられました。何しろ発足当時は会員数305人であったのですから、設立總會の時かと思いますが、受付に座っていた筆者は、統計学の犬先生から「本当に英文論文誌を季刊で出せるの？」とのご質問？を受けて戸惑った記憶がございます。しかし、定期的いきちんと開催・発行をするのが当然という気風を作られたことは、今考えても大変な財産を後輩に残して下さったものと思います。

もちろん、学会創設という大事業を河田先生お1人でなさったとは思いません。しかし、河田先生のお人柄、識見、情熱が諸先輩のご努力を結集するのに大きな役割を果たされたこととっております。

河田先生の学問的、社会的ご業績の数々を挙げだしたら、とてもこの紙幅では足りません。それで、本学会にとって最も重要なお功績と思われる学会創設のことだけを取り上げましたが、私たちににとっては、あのお人柄と学問的情熱とは何にも増して敬愛的でした。お酒と煙草と甘いものが大好きな先生でしたが、黒板



を前にいろいろ議論をしておいて、考えに詰まると煙草を一服され、その内に新しい着想を口にされるのでした。

先生は絵もパチンコもお好きでしたが、何よりも数学がお好きでした。先日のお葬式の際、お子様達とも先生の思い出話をいろいろ致しましたが、結局は「数学がお好きだった。」という話に落ち着きました。

思い出は尽きませんが、心からご冥福をお祈りして筆をおきます。
(森村 英典)

故河田龍夫先生略歴

- | | |
|----------|--|
| 昭和8年3月 | 東北帝国大学理学部卒業
同大学副手、助手、仙台高等工業学校教授、第一生命保険副アクチュアリーを経て |
| 昭和19年6月 | 文部省統計数理研究所所員 |
| 昭和22年10月 | 東京工業大学教授 |
| 昭和36年9月 | アメリカ・カソリック大学教授 |
| 昭和44年8月 | 慶應義塾大学工学部教授 |
| 昭和54年5月 | 東京工業大学名誉教授 |
| 昭和16年 | 理学博士（東北帝国大学） |
| 昭和59年 | 勲三等瑞宝章 |
| 〔OR学会関係〕 | |
| 評議員 | 昭和32～54年度 |
| 副会長 | 昭和32～33年度 |
| フェロー | 昭和39年4月 |
| 名誉会員 | 平成3年 |
| 受賞 | 第6回日本OR学会普及賞 |